

2019年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

MS&C

株式会社 MS & Consulting

決算ハイライト①

● 前年同期比で増収増益

- ✓ 売上収益は596百万円（前年同期比19百万円増、同3.4%増）となりました。
- ✓ ミステリーショッピングリサーチ（以下、MSR）の調査数が堅調に推移したことにより、国内におけるMSRの売上収益（注）は536百万円（前年同期比14百万円増、同2.6%増）、MSRに付随したコンサルティング・研修（以下、コンサル）を含むMSR事業の売上収益でも575百万円（前年同期比17百万円増、同3.0%増）となりました。
- ✓ 営業利益は13百万円（前年同期比13百万円増、同14836.1%増）となりました。

注：「MSRの売上収益」＝「MSR事業の売上収益」－「MSRに付随したコンサルティング・研修の売上収益」

● MSRの調査数は堅調

- ✓ 国内におけるMSRの調査数は5.9万回（前年同期比2.5%増）となりました。
- ✓ 国内におけるMSRの調査店舗数は3.3万店（前年同期比3.9%減）となりました。1店舗当たりの調査回数が増加したため、上記の通り、調査数は堅調に推移しております。

決算ハイライト②

● サービスチーム力診断の調査店舗数は大幅に増加

- ✓ 国内におけるサービスチーム力診断の調査数は5.1万人(前年同期比35.7%増)となりました。
- ✓ 国内におけるサービスチーム力診断の調査店舗数は4,800店(前年同期比16.2%増)となりました。

注：MSRの調査店舗数はユニーク数、MSR及びサービスチーム力診断の調査数ならびにサービスチーム力診断の調査店舗数は延べ数となります。

● 2019年3月期通期業績予想は達成の見込み

- ✓ 2019年3月期第1四半期末時点で、通期業績予想に対する売上収益進捗率は19.9%、営業利益進捗率は2.2%となりました。
また、国内において受注残を含めた通期業績予想に対する売上収益の充足率は58.3%となっております。
- ✓ 売上収益及び営業利益は、他の四半期と比較して第4四半期連結会計期間に高くなるという季節変動性があり、それを織り込んだ
予算編成となっております。
第1四半期連結累計期間の営業利益は社内予算対比13百万円増、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同20百万円増と
順調に推移しており、現時点において、通期業績予想は達成の見込みです。

連結P/Lサマリー

✓ 前年同期比で増収増益

(単位：百万円)

	2018年3月期 第1四半期 (実績)	2019年3月期 第1四半期 (実績)	前年同期 差異	前年同期 比	2019年3月期 連結会計年度 (予想)	予想 進捗率
売上収益	577	596	19	3.4%	2,988	19.9%
営業利益	0	13	13	14836.1%	608	2.2%
税引前利益	△ 0	13	13	—	608	2.2%
当期利益	△ 4	16	20	—	404	4.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△ 2	17	20	—	405	4.3%

連結P/Lサマリー（国内における売上収益の内訳）

- ✓ サービスチーム力診断の調査店舗数が大幅に増加、加えてマネタイズが伸展
- ✓ MSRの調査数が堅調
- ✓ 売上総利益でも前年同期比増益

（単位：百万円）

	2018年3月期 第1四半期 (実績)	2019年3月期 第1四半期 (実績)	前年同期 差異	前年同期比
売上収益	574	588	14	2.5%
MSR事業の売上収益	558	575	17	3.0%
(内、MSR)	523	536	14	2.6%
(内、コンサルティング・研修)	36	39	3	8.9%
(内、サービスチーム力診断、カスタマーリサーチ)	1	15	14	1873.5%
その他の売上収益	16	13	△ 3	-16.1%
売上総利益	167	173	6	3.8%
MSR調査数	5.7万回	5.9万回	0.1万回	2.5%
サービスチーム力診断調査店舗数	4,100店	4,800店	700店	16.2%

連結P/Lサマリー（段階利益内訳）

- ✓ 売上原価は、売上収益増に伴う外注原価増
- ✓ 販管費は、各種コストダウンにより前年同期並み

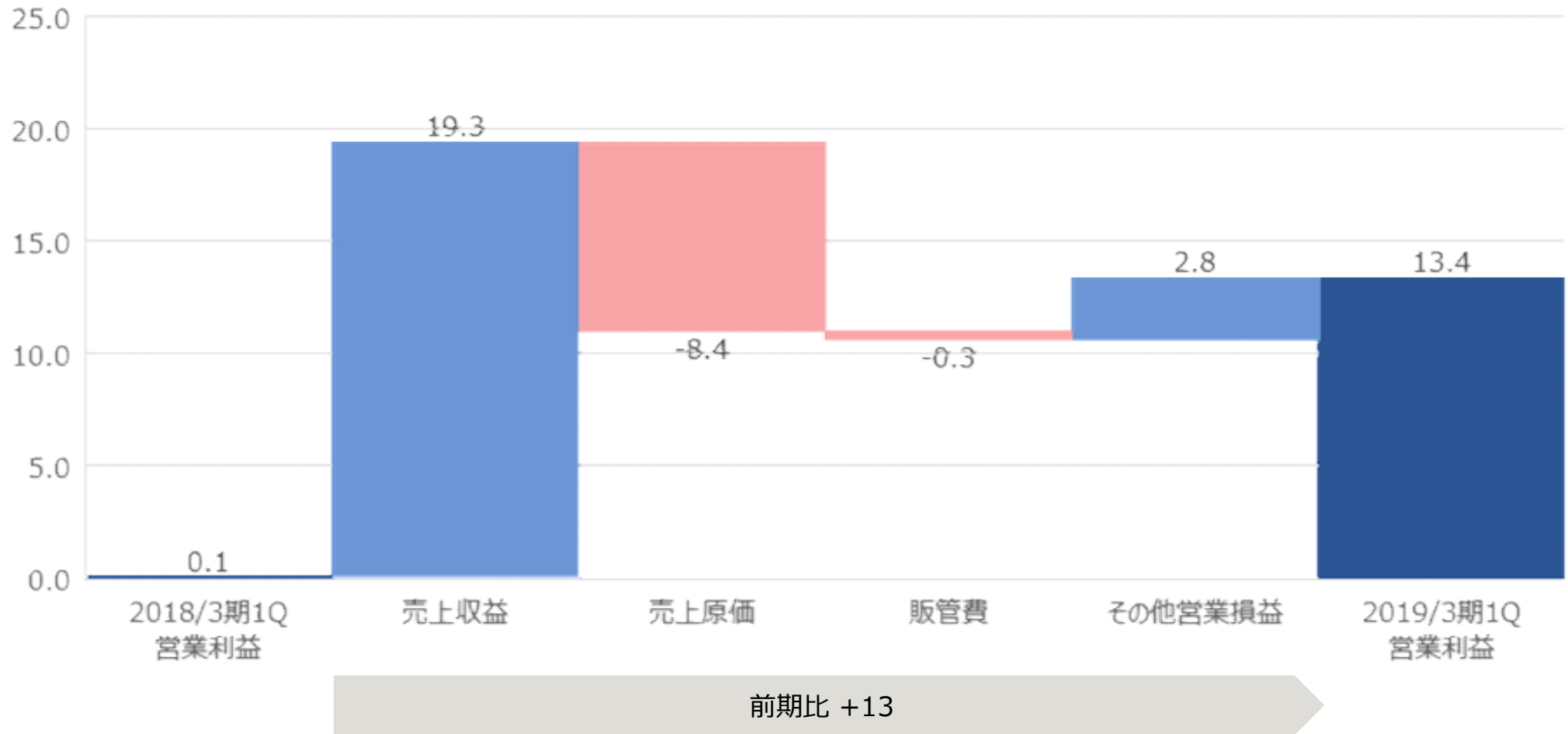
（単位：百万円）

	2018年3月期 第1四半期 (実績)	2019年3月期 第1四半期 (実績)	対売上収益	前年同期比
売上収益	577	596	100.0%	3.4%
売上原価	410	418	70.2%	2.1%
売上総利益	167	178	29.8%	6.5%
販管費	167	167	28.0%	0.2%
その他の営業収益	2	4	0.7%	98.9%
その他の営業費用	2	1	0.2%	-29.7%
営業利益	0	13	2.2%	14836.1%
EBITDA	6	19	3.2%	218.2%
金融収益	0	0	0.0%	-45.2%
金融費用	0	0	0.0%	-43.8%
税引前利益	△ 0	13	2.2%	—
当期利益	△ 4	16	2.7%	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△ 2	17	2.9%	—

EBITDA=営業利益+減価償却費にて算出

連結P/Lサマリー（段階利益増減内訳）

(単位：百万円)



連結B/Sサマリー

- ✓ 調査数の増加によりモニター謝礼等の営業債務及びその他の債務が増加
- ✓ 法人税等の支払により未払法人所得税等が減少
- ✓ 配当金の支払により利益剰余金が減少

資 産	(単位：百万円)		負債及び資本	(単位：百万円)	
	2018年3月期 連結会計年度 (2018年3月31日)	2019年3月期 第1四半期 (2018年6月30日)		2018年3月期 連結会計年度 (2018年3月31日)	2019年3月期 第1四半期 (2018年6月30日)
現金及び現金同等物	627	536	借入金	95	83
営業債権及びその他の債権	756	723	営業債務及びその他の債務	453	527
棚卸資産	3	7	未払法人所得税等	118	18
その他の流動資産	33	38	引当金	7	7
流動資産合計	1,419	1,304	その他の流動負債	25	41
有形固定資産	28	26	流動負債合計	697	675
のれん	2,224	2,224	借入金	75	58
その他の無形資産	36	42	引当金	14	14
その他の金融資産	41	43	非流動負債合計	89	71
繰延税金資産	19	26	負債合計	786	746
非流動資産合計	2,348	2,360	資本金	570	570
資産合計	3,768	3,665	資本剰余金	1,905	1,905
			その他の資本の構成要素	-13	-11
			利益剰余金	534	471
			親会社の所有者に 帰属する持分合計	2,997	2,934
			非支配持分	-15	-16
			資本合計	2,982	2,919
			負債及び資本合計	3,768	3,665

連結CFサマリー

- ✓ 営業活動によるキャッシュフローは、法人税等の支払を含む
- ✓ 財務活動によるキャッシュフローは、借入金の約定返済、配当金の支払による支出が発生
※昨年度の配当金500百万円の支払は、第2四半期(7月)に実施

(単位：百万円)

	2018年3月期 第1四半期 (実績)	2019年3月期 第1四半期 (実績)	前年同期 差異	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	13	20	7	53.6%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17	△ 1	16	-94.8%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 38	△ 111	△ 73	189.7%
現金及び現金同等物の 四半期末残高	978	536	△ 442	-45.2%

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。